



令和2年6月1日(月)9時30分から、立山砂防事務所において、水谷出張所職員5名と事務所職員による「立山カルデラ上山式」を行いました。今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年より規模を縮小しての開催となりました。

これから10月末までの約5ヶ月間に渡り、標高1,100m以上の厳しい環境で家族と離れて合宿生活を送りながら働くことになる水谷出張所職員に、野呂事務所長から激励の言葉が贈られました。これを受けて本田水谷出張所長からは、例年と違った一層厳しい状況下での上山となりますが、工事関係者の安全を確保しながら、無事に工事完成を迎えることを宣誓し水谷へ出発しました。



野呂事務所長による激励

「日本でもトップクラスに自然環境が厳しい現場で安全対策に万全を期し、今年は特に感染症対策にも配慮して、元気な姿で下山されるよう激励」



事務所長より激励を受ける水谷出張所職員

「立山砂防事務所職員一同で、水谷に約5ヶ月間上山する出張所職員の無事を祈り見送りました」



本田水谷出張所長による宣誓

「立山砂防が続けてきた流れを途切らせる事のないよう無事に工事完成を迎えて下山したい」